

# 第31回(2019年度第3回) 日本プロセス化学会 東四国地区フォーラムセミナー プログラム

日 時:令和2年1月11日(土) 14時00分～

会 場:徳島大学総合科学部1号館301講義室(常三島キャンパス)(徳島市南常三島1-1)  
<https://www.tokushima-u.ac.jp/access/>

講演:14時～16時30分

1. 和田 猛 先生 (東京理科大学薬学部生命創薬科学科 教授)

核酸医薬の有効性と安全性を向上させる新規分子技術

2. 菅 裕明 先生 (東京大学大学院理学系研究科化学専攻有機化学講座 教授)

異端は認められた瞬間に先端に変わるー特殊ペプチドからネオバイオリジクスへー

ポスター発表:16時30分～18時

1. Nagelamide K の全合成研究

(徳島大薬<sup>1</sup>、徳島大院薬<sup>2</sup>、北大院総化<sup>3</sup>、北大院理<sup>4</sup>) ○斎藤 亜梨紗<sup>1</sup>、  
岡本 龍治<sup>2</sup>、加藤 光貴<sup>2</sup>、藤本 夏月<sup>3</sup>、中山 淳<sup>2</sup>、谷野 圭持<sup>4</sup>、難波 康祐<sup>2</sup>

2. Guaianolide 型セスキテルペンラクトン類の全合成研究

(徳島大薬、徳島大院薬) ○木村有希、大橋栄作、迫頭春子、中山淳、難波康祐

3. 多置換イソベンゾフラノン合成を指向した金属ストロンチウムを用いるアセチレン骨格  
を二つ以上持つ化合物の合成手法の検討

(徳島大理工) ○中村滉諒・高橋春香・大村聡・上野雅晴・三好徳和

4. *N*-アリールカルバゾール誘導体へのアルキル基の導入による立体効果に基づく発光特性  
変化の検討

(徳島大理工) ○野田大雅・大村聡・上野雅晴・三好徳和

主催 日本プロセス化学会 東四国地区フォーラム  
後援 有機合成化学協会

日本プロセス化学会東四国地区フォーラム 代表幹事 宍戸 宏造

申込先/問合せ:770-8514 徳島市山城町西浜傍示180 徳島文理大学薬学部 角田 鉄人 (TEL(088)602-8452  
FAX(088)655-3051, e-mail:tsunoda@ph.bunri-u.ac.jp)